

シャトルクローザーコレクト®W 取付説明書

品番：NHT-1052



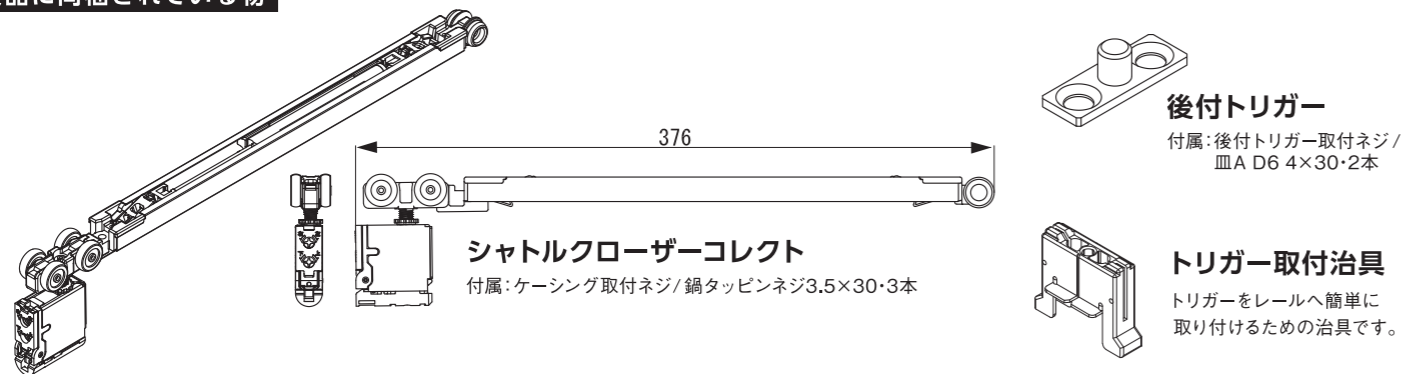
詳しくは
こちらから！

仕様・使用条件

引戸扉重量：10kg以上 40kg以下／1枚 作 動 距 離：約 60mm
 引 戸 扉 幅：460mm以上で上記扉重量範囲内／1枚 使用温度範囲：5℃～40℃
 引戸扉厚さ：24mm以上

※クローズ速度調整・引込力の調整はできません
 ※本装置には扉が停止する時の衝突音や跳ね返りを抑える機能はありません

製品に同梱されている物



別途ご用意いただく物



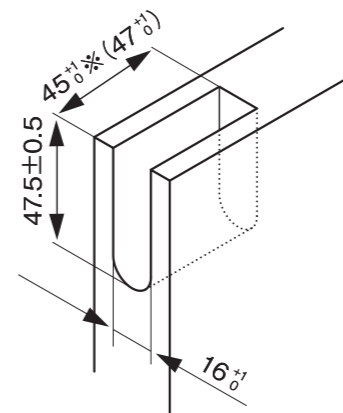
注意事項

- 扉を勢いよく操作すると正常に作動しません。扉、周辺部材、本装置の破損の原因となり、扉の開閉が出来なくなります。扉は通常の引戸と同じように操作してください。
- 本装置は、一般住宅の室内専用製品です。屋外や不特定多数の使用が考えられる場所・施設には使用しないでください。
- 施工後は必ず作動チェックを行ってください。
- レール加工、取り付け時の切粉、木くず等がレール滑走面や装置内部に付着すると、異音の発生や引込動作不良を起こします。施工後も含めてこまめにレール内を清掃してください。
- 本装置は扉の閉め際から閉じるまでをアシストする補助装置です。指詰めを防止する等の安全を保証する装置ではありません。
- 扉の重量・使用環境により減速力・引込速度が変動します。
- 扉の擦れ等の不具合が有る場合は、【扉の調整】に準じ再度調整を行ってください。そのまま使用を続けると扉、周辺部材、本装置の破損等の原因になります。
- 引込作動中に無理に扉を閉めないで下さい。
- 仕様外、誤操作、施工不良、施工後の周辺部材の歪み、製品の分解・改造等による装置の破損、故障に対し弊社では一切の責任を負いかねます。必ず使用条件をお守りください。

取まり寸法

○扉の加工寸法

上吊戸車取付用の U 字溝加工寸法



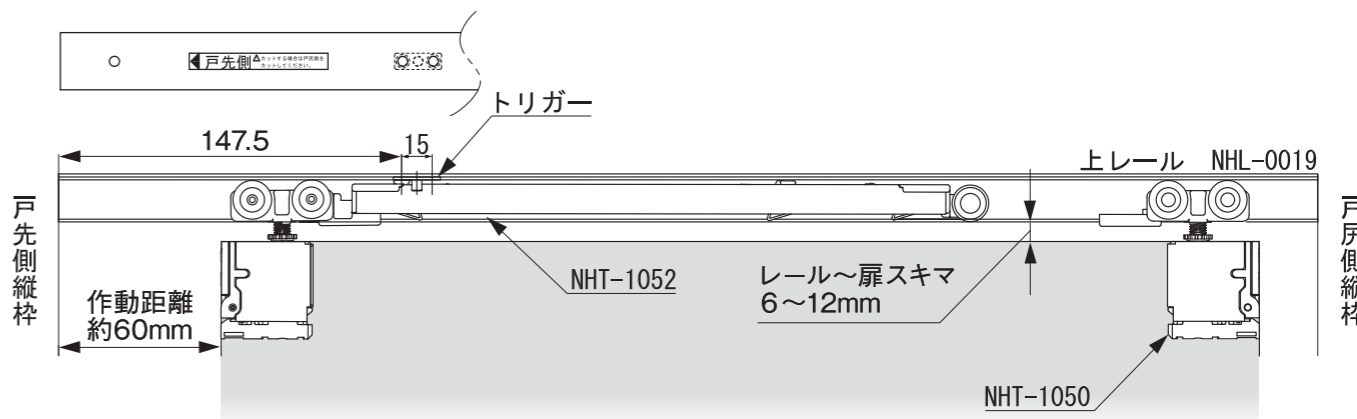
掘り込み加工は、必ず扉の厚みの中心で行ってください。

※化粧キャップを取り付ける場合の掘込奥行きは 47 $\frac{1}{2}$ mm となります。

○金具類の納まり寸法

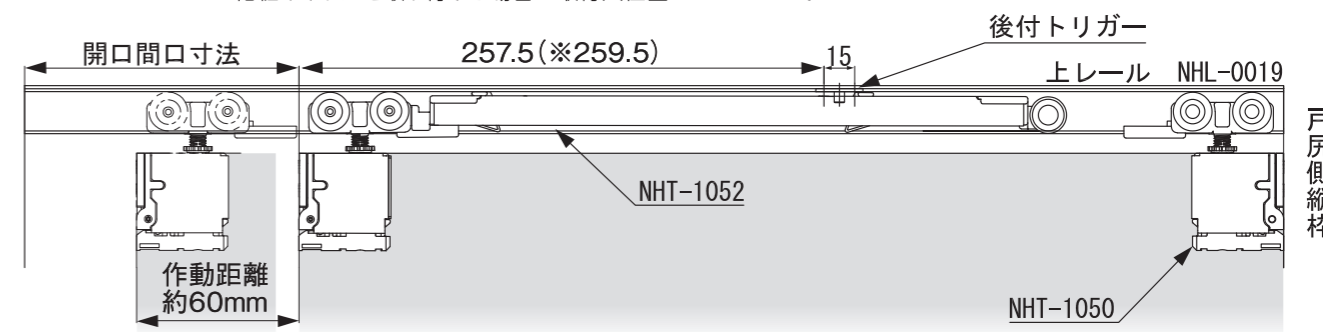
戸先側トリガーの位置

トリガーがリベット止めされている側が戸先側になります。
 戸先側トリガーの最初の取付穴位置は、扉を閉じた状態の扉先端位置から 147.5mm に設定しています。



戸尻側トリガーの取付

戸尻側のトリガーの最初の取付穴位置は、扉を全開にした状態の開口間口寸法 +257.5mm になる様に取付穴加工してください。
 後付トリガーの取り付けはシャトルクローザーコレクトをレール挿入後に行ってください。
 ※化粧キャップを取り付ける場合の取付穴位置は 259.5mm。



作動距離範囲内では扉が元の位置に戻ります。

施工上の注意

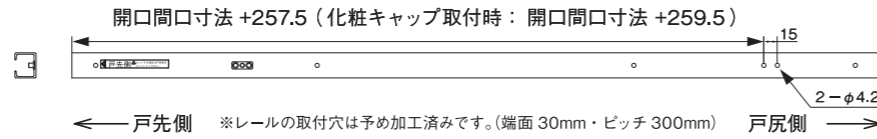
施工作業前に本書をよくお読みいただき、正しく施工を行ってください。誤った施工は思わぬケガをする恐れがあります。本書の説明、注意事項をお守りください。
 本装置の施工後は本書をユーザー様にお渡しいただき、大切に保管してください。
 本装置は改良等により予告なく寸法・形状・仕様が変わることがあります。詳細は現品にてご確認ください。

施工ガイド

1 レールの下穴加工

レールを枠にネジ止めする前に【金具類の納まり寸法】を基に、戸尻側のトリガー取付用穴加工を行ってください。

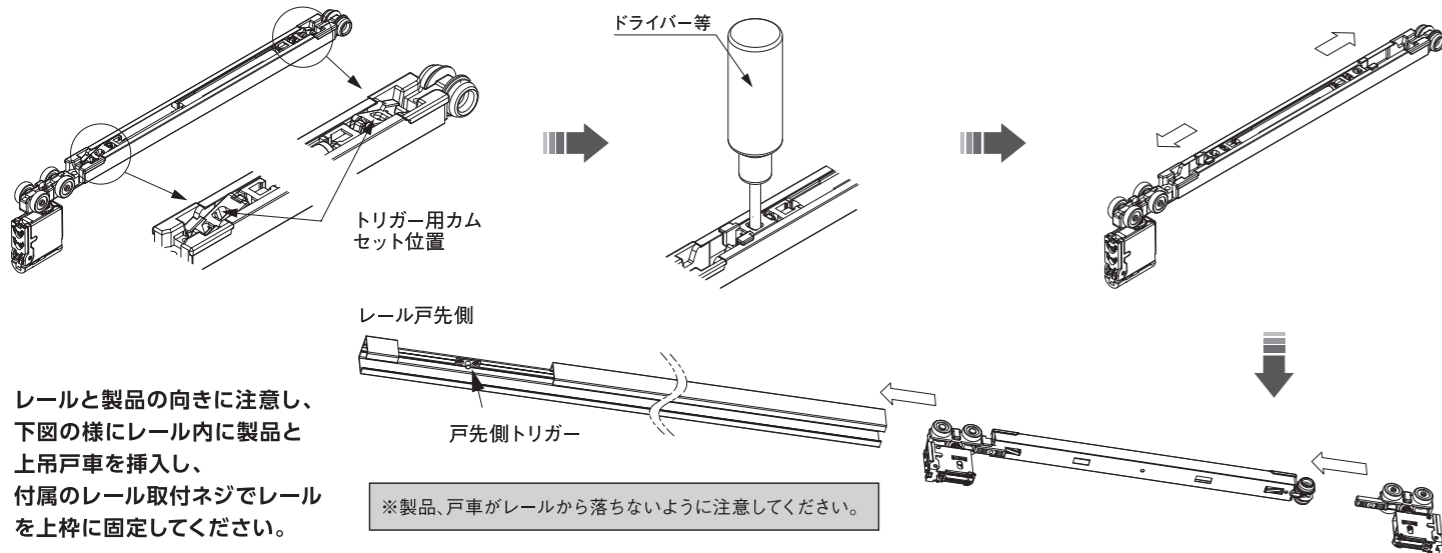
※アルミの切粉やほこりが戸車の滑らかな走行を妨げます。加工後は必ずレール内を清掃してください。



2 レールの取付

レールに本装置を挿入する前にトリガー用カムがセット位置にあることを確認してください。

※セット位置にない場合、ドライバー等でトリガー用カムを両端へ移動させてください。
※けがをしないよう十分に注意してください。



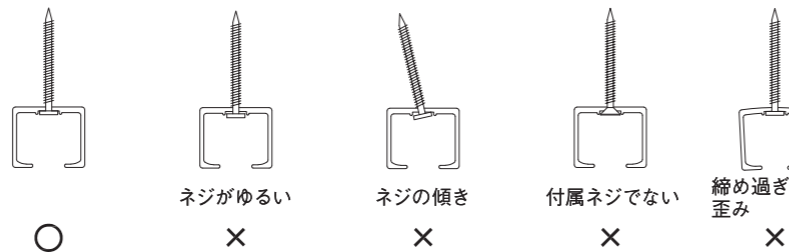
レールと製品の向きに注意し、下図の様にレール内に製品と上吊戸車を挿入し、付属のレール取付ネジでレールを上枠に固定してください。

※製品、戸車がレールから落ちないように注意してください。

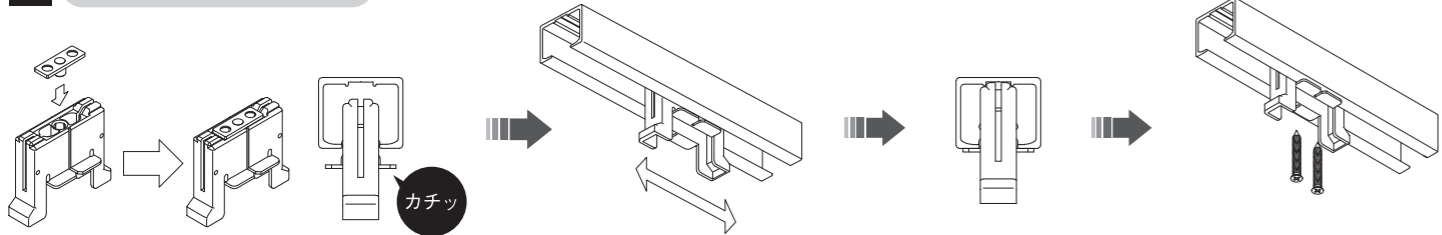
〈レール取付の注意〉

上框、上枠のレール取付面は、平滑で反り、曲がりがない様にしてください。

※ネジの締め過ぎやネジ頭の出っ張りに注意してください。レール変形やクローザーの誤動作につながります。



3 戸尻側トリガーの取付



後付トリガーをトリガー取付治具にセットし、レール開口部に挿し込みます。

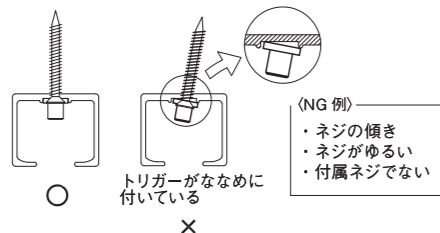
※トリガー取付治具の1段目の突起をカチッと音(または感触)がするまで挿し込んでください。

トリガー取付治具をスライドさせて、【1】レールの下穴加工にて空けたネジ穴と穴位置を合わせます。

トリガー取付治具のツバ部がレールに当たるまで、さらに上まで挿し込みます。

付属の後付トリガー取付ネジで後付トリガーを固定します。

※ネジの締め過ぎやネジ頭の出っ張りに注意してください。レール変形やクローザーの誤動作につながります。



ネジ固定ができたならトリガー取付治具を引き抜きます。

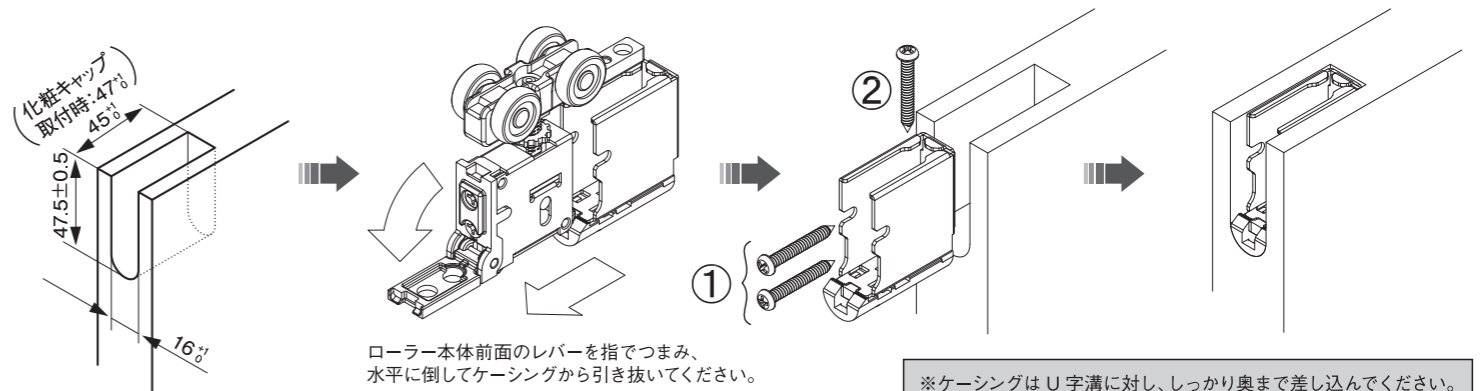
4 レールの清掃

上レール・後付トリガーを取り付けた後、レール滑走面をきれいにしてください。木くず等がレール滑走面や装置内部に付着すると、異音の発生や引込動作不良を起こし、扉が閉まらなくなります。施工後も含めてこまめにレール内を清掃してください。

5 扉の加工

【扉の加工方法】を基に、扉の上部へ上吊戸車取付用のU字溝加工を行ってください。

上吊戸車からケーシングを外し、扉の上部に加工したU字溝に3本の付属ネジでケーシングを取り付けてください。



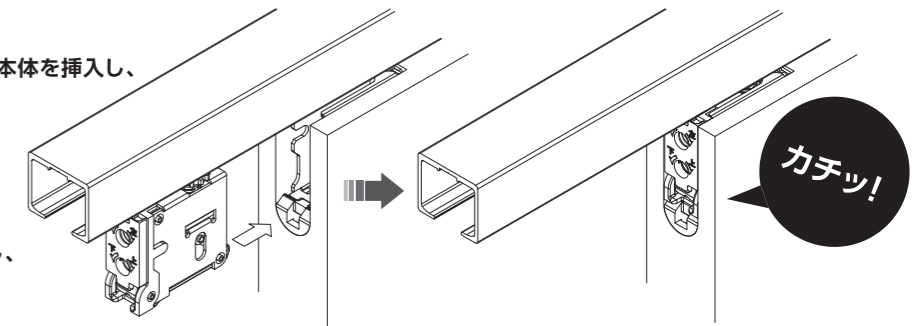
ローラー本体前面のレバーを指でつまみ、水平に倒してケーシングから引き抜いてください。

※ケーシングはU字溝に対し、しっかり奥まで差し込んでください。
※ネジ止めの順番は図の①→②の順番で行ってください。

6 扉の吊り込み

【5】扉の加工にてネジ止めたケーシングへローラー本体を挿入し、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

※「カチッ」と音がしない場合はケーシング取付ネジの浮きや切粉などの混入が考えられます。



扉を外す際は、扉を軽く持ち上げ、レバーを水平に倒し、戸車を引き抜いてください。

※レバーを水平以上に倒さないでください。

7 作動チェック

扉の全開・全閉をゆっくりと数回行ない、作動の確認をしてください。

8 扉の調整

扉の上下調整・左右調整は上吊戸車で行えます。

※上下・左右調整の際は、マイナスドライバー等を使用して、はね上がり防止ナットを一番上まで上げてから行ってください。上下調整後、はね上がり防止ナットを一番下まで下げてください。
※調整ねじは調整範囲以上回さないでください。
※電動ドライバーは絶対に使用しないでください。

